

### 第39期(2007年度)事業計画

本会が第39期(2007年3月1日~2008年2月29日)に行う事業の実施計画は次の通りである。

研究発表および学術講演会の開催(定款5条1号)

- ・第47回航空原動機・宇宙推進講演会を下記のとおり行う。  
 日時 2007年3月1日~2007年3月1日  
 場所 イーグレひめじ(姫路市) 参加予定者数 200人 演題数 150件
- ・第2回全日本学生室内飛行ロボットコンテストを下記のとおり行う。  
 日時 2007年3月24日~2007年3月25日  
 場所 大田区産業プラザ(東京都) 参加予定者数 30チーム
- ・第38期通常総会および年会講演会を下記のとおり行う。  
 日時 2007年4月4日~2007年4月5日  
 場所 宇宙航空研究開発機構 航空宇宙技術研究センター(東京都調布市)  
 通常総会 参加予定者数 2,200人(委任状を含む)  
 年会講演会 参加予定者数 250人 演題数 50件
- ・第39回流体力学講演会/航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム2007を下記のとおり行う。  
 日時 2007年6月14日~2007年6月15日  
 場所 宇宙航空研究開発機構 航空宇宙技術研究センター(東京都調布市)  
 参加予定者数 270人 演題数 150件
- ・第49回構造強度に関する講演会を下記のとおり行う。  
 日時 2007年7月25日~2007年7月27日  
 場所 コラッセふくしま(福島市) 参加予定者数 150人 演題数 100件
- ・平成19年度空の日・宇宙の日記念特別講演会を下記のとおり行う。  
 日時 2007年9月14日  
 場所 航空会館 大ホール(東京都) 参加予定者数 200人 演題数 2件
- ・第45回飛行機シンポジウムを下記のとおり行う。  
 日時 2007年10月10日~2007年10月12日  
 場所 北九州国際会議場(北九州市) 参加予定者数 450人 演題数 150件
- ・飛行機シンポジウム第21回国際セッションを下記のとおり行う。  
 日時 2007年10月10日~2007年10月11日  
 場所 北九州国際会議場(北九州市) 参加予定者数 80人 演題数 50件
- ・第51回宇宙科学技術連合講演会を下記のとおり行う。  
 日時 2007年10月29日~2007年10月31日  
 場所 札幌コンベンションセンター(札幌市) 参加予定者数 450人 演題数 400件
- ・第13回スカイスポーツ・シンポジウムを下記のとおり行う。  
 日時 2007年12月8日~2007年12月9日  
 場所 日本大学理工学部(船橋校舎) 参加予定者数 180人 演題数 30件

以上のほか、関連学術団体との主催・共催講演会、本会支部主催講演会等を下記のとおり行う。

- ・北部支部総会および支部20周年記念講演会ならびに  
 第8回再使用型宇宙推進系シンポジウム 2007.3.7~9 (北部支部主催)
- ・第56回理論応用力学連合講演会 2007.3.7~9 (本会共催)
- ・第50期中部支部大会および特別講演会 2007.3.19 (中部支部主催)
- ・西部支部第35期総会および特別講演会 2007.3.20 (西部支部主催)
- ・第53回関西支部総会および特別講演会 2007.4.20 (関西支部主催)
- ・第44回日本伝熱シンポジウム 2007.5.22~25 (本会共催)
- ・第6回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム 2007.6.20~22 (本会共催)
- ・第53回風に関するシンポジウム 2007.6.21 (本会共催)
- ・第26回混相流シンポジウム 2007.6.23 (本会共催)
- ・安全工学シンポジウム2007 2007.7.5~6 (本会共催)
- ・第18回プラズマ化学国際シンポジウム 2007.8.26~31 (本会共催)
- ・西部支部講演会(2007) 2007.10 (西部支部主催)
- ・第15回衛星設計コンテスト 2007.10 (本会主催)
- ・第50回自動制御連合講演会 2007.11 (本会共催)
- ・第44回関西支部・中部支部合同秋期大会 2007.11 (関西/中部支部)
- ・第51回材料工学連合講演会 2007.11.27~29 (本会共催)
- ・第9回国際ガスタービン会議 2007.12.2~7 (本会共催)
- ・第45回燃焼シンポジウム 2007.12 (本会共催)

- ・関西支部ライト祭 2007.12 (関西支部主催)
- ・第57回理論応用力学連合講演会 2008.1 (本会共催)

会誌その他図書の刊行(定款5条2号)

- ・学会誌「日本航空宇宙学会誌」を下記のとおり発行する。

| 発行年月日     | 巻号     | 発行部数   | 発行年月日      | 巻号     | 発行部数   |
|-----------|--------|--------|------------|--------|--------|
| 2007年3月5日 | 55 638 | 4,300部 | 2007年9月5日  | 55 644 | 4,300部 |
| 2007年4月5日 | 55 639 | 4,300部 | 2007年10月5日 | 55 645 | 4,300部 |
| 2007年5月5日 | 55 640 | 4,300部 | 2007年11月5日 | 55 646 | 4,300部 |
| 2007年6月5日 | 55 641 | 4,300部 | 2007年12月5日 | 55 647 | 4,300部 |
| 2007年7月5日 | 55 642 | 4,300部 | 2008年1月5日  | 56 648 | 4,300部 |
| 2007年8月5日 | 55 643 | 4,300部 | 2008年2月5日  | 56 649 | 4,300部 |

- ・和文論文集「日本航空宇宙学会論文集」を下記のとおり発行する。

| 発行年月日     | 巻号     | 発行部数   | 発行年月日      | 巻号     | 発行部数   |
|-----------|--------|--------|------------|--------|--------|
| 2007年3月5日 | 55 638 | 4,300部 | 2007年9月5日  | 55 644 | 4,300部 |
| 2007年4月5日 | 55 639 | 4,300部 | 2007年10月5日 | 55 645 | 4,300部 |
| 2007年5月5日 | 55 640 | 4,300部 | 2007年11月5日 | 55 646 | 4,300部 |
| 2007年6月5日 | 55 641 | 4,300部 | 2007年12月5日 | 55 647 | 4,300部 |
| 2007年7月5日 | 55 642 | 4,300部 | 2008年1月5日  | 56 648 | 4,300部 |
| 2007年8月5日 | 55 643 | 4,300部 | 2008年2月5日  | 56 649 | 4,300部 |

- ・欧文論文集“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences”を下記のとおり発行する。

| 発行年月日     | 巻号     | 発行部数   | 発行年月日      | 巻号     | 発行部数   |
|-----------|--------|--------|------------|--------|--------|
| 2007年5月4日 | 50 167 | 4,300部 | 2007年11月4日 | 50 169 | 4,300部 |
| 2007年8月4日 | 50 168 | 4,300部 | 2008年2月4日  | 50 170 | 4,300部 |

- ・和文オンラインジャーナル誌「宇宙技術」をJ-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)に随時発行する。

- ・欧文オンラインジャーナル誌“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Space Technology Japan”をJ-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)に随時発行する。

研究および調査(定款5条3号)

- ・第36期(2004年3月1日~2005年2月28日)に、航空宇宙技術リエゾン委員会内に「将来型宇宙輸送システム」ワーキンググループを設置し、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と大学との研究情報交換の橋渡しを行った。この活動はその後継続的に実施されており、第39期も引き続き研究者データベースを基にした企業および研究機関と大学の双方向の情報交換を積極的に進める。
- ・第38期(2006年3月1日~2007年2月28日)に、宇宙航空研究開発機構(JAXA)より委託された次の2件の受託研究、(1)航空機構造の疲労・信頼性に関する国内外の研究調査、(2)サイレント超音速機に関する調査研究(その1)を実施した。第39期も引き続き受託研究事業を積極的に推進する。

関連学会等との連絡および協力(定款5条4号)

- ・関連学術団体の行事に協力し、講演会等の事業を協賛・後援する。

その他目的を達成するために必要な事業(定款5条5号)

- ・第16回(2006年度)日本航空宇宙学会賞を下記のとおり表彰する。

論文賞(2件):「低周波燃焼振動噴霧の可視化」

田村 洋、高橋 守、坂本 博、佐々木 正樹、升谷 五郎

「カスティリアーノの定理について」

近藤 恭平

技術賞(2件):「「はやぶさ」小惑星探査宇宙船システム」

はやぶさプロジェクトチーム(代表:川口 淳一郎)

「小型超音速実験機(ロケット実験機)の開発および飛行実験」

坂田 公夫、高見 光、大垣 正信、越岡 康弘、高崎 政之

奨励賞(2件): 森上 修 「揮発性の異なる正アルカン液滴の自発点火」

山崎 武志 “Identification of Blimp Dynamics via Flight Tests”

- ・第17回(2007年度)日本航空宇宙学会賞の選考を行う。

- ・第7回(2007年度)日本航空宇宙学会学生賞の受賞者を決定し、受賞者表彰を行う。